

4 年次後期・必修

1 単位・45 時間

【概要・目的】

本科目は、保健看護活動が行われている場における保健看護管理過程に体験的に参加することによって、実際に行われている保健看護管理を学ぶ。これまでの学習過程で学んできた保健看護の管理に関する現状を知り、理論を活用して問題解決の糸口を見出し、保健看護管理演習と合わせて管理能力を養う。

【到達目標】

- 1) 実習施設の指導者と主体的に関連づくりを行うことができる。
 - 2) 行動計画に基づき、社会の一員として責任ある行動がとれる。
 - 3) 保健看護管理に関する問題を個別化、具体化することができる。
 - 4) これまで学んだ理論的な知見を用いて、問題解決の糸口を見出すことができる。
 - 5) 成果が得られるように積極的に行動し、実習内容の自己評価を行うことができる。
-

【内容・スケジュール】

1. 実習期間：10月の1週間
 2. 実習場所：指定された施設より選択する。
 3. 実習方法：学生の主体的な実習計画に基づいて行う。
 4. 記録：実習内容は所定の用紙に記録する。
指定の期日迄に提出する。
詳細については別途実習要項を配布する。
-

【評価】

実習目標（評価表）に沿って、自己評価、記録、実習への取り組みなどを総合して評価する。
評価責任者：水田真由美

【推薦参考図書】

適宜紹介する

【その他】